



岡山大学法学部だより



※ 本メールは登録された方におのみお送りしています

第 41 号(2012 年 1 月 25 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

寒さの厳しい中、梅のつぼみはふくらんできています。

法学部だより第 41 号をお届けします。

目次

- 在学生の活躍から～ケント大学派遣学生からの手紙～
- パリ便り～ソルボンヌからの風～ (第 13 回)
- 法学部からのお知らせ

- 在学生の活躍から～ケント大学派遣学生からの手紙～

今年度のケント大学派遣学生からメールが届きました。以下は、その抜粋です。

Hello!

It's been a while since I sent you e-mail.

I'm sorry for not sending e-mail regularly.

I finished my English class in September and now I'm studying Politics and International Relations!

I take four modules in Autumn term.

I have 4 seminars and lectures per week: Introduction to government, European Integration and so on.

The Academic system in the UK is completely different from Japanese system.

Especially, the seminars are so hard for me.

I have to read a lot of books and journals before seminars and say something.

I'm struggling to understand lectures every day.

However, everything in the UK is stimulating.

I really feel an appreciation for University of Okayama, Dr Tani and Dr Agatsuma!

Moreover, I have made some wonderful friends in Societies.

The Society is a kind of club.

I'm a member of "Japan Society" and "Tea Society".

They are very awesome!!

Also, I have lovely flatmates.

They are from America, Russia and France.

We sometimes have a meal together and have an International party!

I attach some pictures of friends and flatmates.

To be honest, I'm nervous and worried about my Academic life in the UK.

It is very difficult for me to follow the classes because of my poor English and knowledge about Politics.

But I think this is definitely a good experience for me!!

I will try to do my best :)

Take care!

(法学部 3 年生 大村唯子 ケント大学留学中)

- パリ便り～ソルボンヌからの風～ (第 13 回)

第 3 回法律書フェア

10 月半ば、パリで第 3 回法律書フェアが開催されたので参加してきました。当日は、Dalloz や PUF などフランスの代表的な法律書出版社が一堂に会して、ブースを構えて出店します。この企画の売りは何と云っても、著者に出会えることです。近著を出版した著者（多くは大学教授です）が自分の本を前にして座り、その本の購入者にはサインをしてくれます。私も憲法学で有名なジャン・ジッケル教授の最近著を購入し、その場でサインをしてもらいました。著者の顔が見えると、本の内容もすらすら頭に入ってくるということでしょうか。会場は、著名な法学者たちに直接会えるということで、学生や元法学部生の大人たちで大賑わいでした。

ところで、この企画はどこで開かれたのでしょうか。実は、パレ・ロワイヤルの一角を占める憲法院で行われました。憲法院とは、法律が憲法に適合するか否かを審査する独立の機関で、憲法学では憲法裁判所ということもあります。上記フェアが盛況だったのは、普段入ることのできない憲法院で行われたことも影響しているのでしょう。実際、当日は見学ツアーも用意されており、現職のドブレ憲法院長が訪問客を出迎えていました。

フランスでは学会や研究会が上院や最高行政裁判所（憲法院と同じパレ・ロワイヤルにある）などの国家機関で行われることが少なくありません。大学の授業も担当の先生の都合で、国会や最高裁判所で開講されることがあります。このため、研究者や学生は、日ごろから自らの研究・学習対象に接することができます。もちろん、国家機関の側にも、施設を利用してもらうことで、自らの仕事に関心をもってもらうという狙いがあります。何れにせよ、著者の顔が見え、裁判所などの国家機関に親しむことのできるフランスの学生にとって、法学は意外と身近に感じられるのかもしれませんが。

井上武史 准教授

○ 法学部からのお知らせ

☆法学部の英文 HP を公開しました。以下を参照してください。

<http://www.law.okayama-u.ac.jp/english/>

- ・本メルマガは、毎月 2 回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。  
法学部 HP <http://www.law.okayama-u.ac.jp/>
- ・本メルマガには返信なさらないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。  
<http://court.law.okayama-u.ac.jp/mail/register.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 [joho@law.okayama-u.ac.jp](mailto:joho@law.okayama-u.ac.jp) まで。